

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	中国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0046		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報工学科		対象学年	5	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 『理系学生の為の中国語』 参考図書: 『中国語入門 & 異文化理解ハンドブック』 (アルク), 指定はしないが中国語辞典が必要。				
担当教員	杉山 明				
到達目標					
学習目的: 初級から中級程度の中国語の運用能力を身につける。					
到達目標 1. 中国語独特の音声, イントネーションを聞き取り, また発声できる。 2. 基礎的な単語600語程度を理解する。 3. 交通機関利用, ホテルの宿泊, 簡単なトラブル解決等, 簡単な日常会話ができる。					
ルーブリック					
	優	良	可	不可	
評価項目1	教員の問いかける中国語を聞き取り, 適切に中国語で回答できる。	教員の問いかける中国語を半ば以上聞き取り, 半ば以上回答できる。	教員の問いかける中国語をある程度聞き取り, ある程度回答できる。	教員の問いかける中国語をほとんど聞き取れない。	
評価項目2	必要な単語の意味表記, 発音を理解し運用できる	ある程度の単語の意味, 表記, 発音を理解し運用できる。	最低限の単語の意味, 表記, 発音を理解し運用できる。	基礎的な単語の意味, 表記, 発音を理解できずまた努力しない。	
評価項目3	既習の文法, 句法に則った正しい中国語を運用できる。	既習の文法, 句法と相違しても, 意味の取れる中国語を運用できる。	既習の文法, 句法と相違しても, 意味の取れる中国語を運用使用とする。	既習の文法, 句法に則った中国語を運用できず, また学ぼうとしない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<p>一般・専門の別: 一般 学習の分野: 外国語</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別: 履修選択</p> <p>基礎となる学問分野: 人文学/言語学</p> <p>学科学習目標との関連: 本科目は一般科目学習目標「(5) 国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連: 本科目が主体とする学習・教育目標は「(B) 地球的視野に立った人間性の育成, B-2: 地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し, 説明できること」であるが, 付随的には「B-1」にも関与する。</p> <p>授業の概要: 中国語Ⅰで身につけた初歩的な中国語会話を基礎として, より高い水準の会話能力を身につけるべく, 新たな単語, 言い回し, 構文を学び, さらにそれを自らの発話に応用できるよう練習する。</p>				
授業の進め方・方法	<p>授業の方法: テキストを利用し, 発音練習, 単語説明, 文法解説等を進める。時間があれば自作教材による会話練習を行う。ビデオ教材も利用する。</p> <p>成績評価方法: 2回の定期考査の結果を70%, 毎時間実施する小テストを10%, 平素の口頭演習等を20%として, 総合計によって評価する。時間外の学習内容の評価は, 平素の口頭演習等に含まれる。試験への持ち込みは一切不可。場合によっては再試験を実施することもある。再試験の評価は定期試験1回分と同等とする。</p>				
注意点	<p>履修上の注意: 本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが, これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。</p> <p>履修のアドバイス: 中国語Ⅰを履修した者, 中国語検定4級以上を取得した者, その他指導教員がそれと同等の力があると認められた者。語学であるから, 予習復習等の物理的負担は大きい。小テストの準備は必ずしておくこと。</p> <p>基礎科目: 中国語Ⅰ(4年) 関連科目: 日中比較文化論(専1年)</p> <p>受講上のアドバイス: 語学は予習, 復習が大切。論理より訓練だと考えること。また, 会話能力の伸長のためには積極的な発話が必要。間違いを恐れず意欲的に取り組んでほしい。授業開始より20分を過ぎた場合は, 欠課扱いとする。</p>				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス テキスト第1~2課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習, 課文の暗唱, 毎回の予習復習, 毎時間行われる小テストの準備	授業計画を理解する。	
		2週	第3~5課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習, 課文の暗唱, 毎回の予習復習, 毎時間行われる小テストの準備	3~5課の内容を理解する。単語を発音し, 聞き取れる。	
		3週	第6~7課復習 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習, 課文の暗唱, 毎回の予習復習, 毎時間行われる小テストの準備	6~7課の内容を理解する。単語を発音し, 聞き取れる。	

2ndQ	4週	第8課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第8課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	5週	第9課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第9課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	6週	第10課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第10課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	7週	第11課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第11課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	8週	中間試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
	9週	中間試験の返却と解説、ビデオ教材視聴 新テキスト 第1課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	これまでの学習内容理解の不足を補う。第1課の内容を理解する。
	10週	第1課、第2課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第1課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	11週	第2課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第2課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	12週	第3課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第3課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	13週	第4課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第4課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	14週	第5課 テキスト添付音声教材による聞き取りと発音練習、課文の暗唱、毎回の予習復習、毎時間行われる小テストの準備	第5課の内容を理解する。新たな単語を発音し、聞き取れる。
	15週	期末試験	これまでの学習内容の理解度の確認。
	16週	期末試験の返却と解説	これまでの学習内容理解の不足を補う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	70	20	0	0	0	10	100
基礎的能力	70	20	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0